真宗大谷派旭川別院　伝統に学び　未来へつなぐ　今をきずく



6回連続公開講座

「葬儀を考える」

人と人が出会い、またお別れしていくのは必然ですが、
親しい人や愛する人との死別ほどつらく悲しいことはありません。
悲しみの中であっても遺された者が、親族や地域の助けを借りながら、
亡き方を見送ってきましたが、近年、個人主義、核家族化の
進行などによって、地域社会との関係も薄れ、
家族葬や直葬という形が多くなってきました。
葬儀そのものの形骸化が主なる要因として考えられます。
そのように葬儀のあり方が多様化していく中で、
本来の葬儀の意義を「仏教」「真宗」の教えに確かめながら、
各方面のご講師をお迎えし、皆様と一緒に考えていきたいと思います。
どうぞ多くの方のご参加をお待ちしております。

講座日	① 5月23日(月)　② 6月13日(月)　③ 7月1日(金) ④ 9月12日(月)　⑤10月13日(木)　⑥12月1日(木)
時　間	午後3時開講　午後5時まで 但し、④9月12日(月)のみ、午後3時～午後6時迄
受講料	各講 500円 皆様からいただいた受講料は、本山を通じ「平成28年(2016年)熊本地震」被災地への義捐金とさせていただきます
場　所	真宗大谷派 旭川別院

「葬儀を考える」6回連続公開講座

① 5月23日 月曜日

「葬儀事情」

(葬儀事情と葬儀を行う時の注意や寺院とのかかわり)

葬儀に対する考え方(進み方)が想像以上に変化しています。家族間、親族間が希薄になり、家族葬や直葬という形で亡くなった方を送る方が増えています。宗教に対する考え方も変わってきている現状を踏まえ、本来の弔う気持ちを大切に考えていきましょう。



株式会社極楽堂はなや
代表取締役
中島浩盟(なかじまひろみ)氏

北海道葬祭業協同組合副理事長。札幌別院院議会監事を勤め、率先して別院を会場にして真宗の葬儀<野卓>を使用した葬儀を行っている。
厚生労働省認定葬祭ディレクター技能審査協会試験管。学校法人北海大谷学園監事。